

ダイオキシン類 JIS 改正の動向



現在、排ガスや水質中のダイオキシン類測定の見直し JIS が一部改正する方向で検討されています。改正内容としては、JIS と法律の用語の違いや内容のわかりずらさを変更したり、新しい技術を整理し見直す方向で動いています。改正のポイントを以下に示します。

<改正のポイント>

- ・法律との定義や言葉の整合性を図る
- ・排ガスのサンプリング方法などの新技術で、精度が保証できるものなら取り入れる方向で検討
- ・精度が保証されることが前提のため、簡易測定法を JIS に取り入れるのは難しいが、ある程度今の精度が維持可能ならば JIS 範疇に入れる方向で検討
- ・新たに JIS に加えてもいいと思われる手法として、排ガスのサンプリング装置がある
- ・抽出法では、高速溶媒抽出などの新しい方法が出ており、抽出効率が落ちていないことが確認できれば取り入れてもいいという意見がある
- ・ISO などの世界基準との整合性については、手法的にはほとんど一致している。ISO から取り入れられる内容があれば検討する
- ・コストや所要時間を削減する方向での見直しについては、時間を縮めるのは難しい現状だが、抽出操作等が今の JIS の方法よりやりやすくなる
- ・表現についての検討箇所の一つに検量線の作成がある(わかりやすい表現に変更)

以上の検討内容をもとに、既に原案作りに取り掛かられています。三月末までに改正案を仕上げ、日本規格協会を經由して経済産業省に提出、改正手続きに入る予定です。また、簡易測定との併用については、排ガスなどある限定された範囲で使用可能な簡易測定法は出来ていますが、様々なものに適用できるものが現状ではないため、それが今後の課題となる様です。

資料:2004年1月14日付 環境新聞

環境技術箇所 坂田 旭子

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
U R L : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

